

広報のぼりべつの表紙写真が**入選**

第65回北海道広報コンクール

北海道内の市町村や政府機関などが発行した広報紙・広報写真・映像などについて、優れた作品を表彰する『第65回北海道広報コンクール』（広報広聴技術研究会実行委員会主催）において、このたび、市の広報写真（一枚写真・市町村の部）が入選となりました。

入選作品は、広報のぼりべつ2018年11月号の表紙写真。駅伝大会で降りしきる雨の中、力強く走るランナーがたすきをつなぐ一瞬を捉えたものです。

広報紙の表紙は、多くの方に手に取ってもらえるよう、毎月、まちの動きや市民の表情の一瞬をカメラに収め、魅力ある写真を選定しています。

今回の評価を励みに、今後も魅力ある広報写真、広報紙づくりに努めてまいります。



▲全道から34点の応募があった広報写真（一枚写真・市町村の部）の中で、入選となった『広報のぼりべつ2018年11月号』の表紙写真



▲三愛病院理事長・院長の千葉泰二さん（認知症サポート医）による講演を通じ、認知症について学ぶ参加者

『認知症』を知る

第2回登別おれんじふおーらむ

2月9日（土）、鉄南ふれあいセンターで、認知症についての理解を深める『第2回登別おれんじふおーらむ』（登別市認知症初期集中支援チーム、市主催）を開催しました。

今回は、認知症の原因となる疾患のセルフチェック方法や認知症の種類、家庭で気軽にできる予防方法などを紹介。さらに、市内の地域包括支援センター、認知症初期集中支援チームなどのそれぞれの役割について、寸劇を交えながら解説しました。参加した市民約90人は、認知症を早期に見つけることの重要性を再確認するとともに、自身や家族の生活習慣を見直すきっかけとしていました。

2/9



▲ホテルを訪問し、子どもたちを驚かせる『湯鬼神』



▲年男が騎手となって鉢巻を取り合う『源泉湯かけ合戦』

この記事の関連動画を次の方法でご覧いただけます。

・URL:
<https://www.youtube.com/user/NoboribetsuOfficial/videos>
・市フェイスブック
・二次元バーコード



寒さ吹き飛ばす『源泉湯かけ合戦』

第48回登別温泉湯まつり

2月3日（日）・4日（月）の2日間、登別温泉とカルルス温泉で『登別温泉湯まつり』（登別国際観光コンベンション協会、市主催）を開催しました。

登別温泉の豊富な湯量と多彩な泉質、湯の効能に感謝し、湯が尽きることのないよう、開運招福と無病息災を祈願して行っているこのまつり。

「登別温泉の守り神である『湯鬼神』が、登別温泉街のホテルや旅館などを訪れ、『湯鬼神かぐら』を披露して厄払いを行ったほか、源泉公園では甘酒やおしるこを振る舞い、集まった市民や観光客の心と体を温めていました。

4日（月）の夜には、赤組・白組に分かれた下帯姿の若者たち約70人による『源泉湯かけ合戦』が源泉公園を舞台に繰り広げられ、雪が舞う中、寒さに負けない気迫あふれる姿を見せていました。

赤組が勝つと登別温泉の湯の温度が上がり、白組が勝つと湯量が増えるといわれており、今年は、熱戦の末、赤組が勝利を飾りました。

2/3・4